

SWOT分析の考え方 2021.07.15 企画課

- SWOT分析とは、戦略を企画立案する際に、外的・内的要因などの現状を分析する戦略計画手法の1つ。様々な要素をStrength（強み）、Weakness（弱み）、Opportunity（機会）、Threat（脅威）の4つに分類し、マトリクス表にまとめることにより、課題が抽出され、その結果、解決策を導くための戦略が見つけやすくなるという特徴
- 一般的に、企業がSWOT分析を行う場合、自社が持つ社内リソースの内部環境と、自社をとりまく競合他社や市場といった外部環境を照らし合わせて分析し、経営戦略を導いていく
- ここでは、対象を「札幌のまち」（札幌市役所ではない）とし、各分野の基本目標（政策の方向性）導くために分析を行う。

強み：札幌のまちが持つ優れた内部環境 機会：札幌のまちの価値を向上する外部環境
 弱み：札幌のまちが持つ不利な内部環境 脅威：札幌のまちの価値向上を阻害する外部環境

■内部環境として、人的資源、財務的資源、物的資源、情動的資源を定義

		札幌のまちの強み	札幌のまちの弱み
人的資源	市民	○市民愛着度の高い市民の多さ	○市民の健康寿命は全国平均以下 ○子育てへの負担感を抱える市民の増加 ○町内会加入率の低下（地域意識や人間関係の希薄化） ○女性、高齢者の有業率の低さ ○男女ともに長時間労働の傾向 ○生産年齢人口の減少、少子高齢の人口構造 ・合計特殊出生率の低さ ・若年層の道外流出
財務的資源	自治体の財政力 市民の経済力	○市民1人あたりの市債残高の低さ	○1人あたりの市民所得の低さ ○財政力指数の低さ
物的資源	天然資源（地理、自然等） 都市基盤	○豊かな自然環境、年間6mの天然雪と共存する世界に類を見ない大都市 ○冷涼な夏の気候 ○都市機能の集積 ・大学等の教育研究機関、医療機関、都市公園、都市部から近いウィンタースポーツ環境、身近な文化芸術（市民交流プラザ、Kitara など） ○ICT関連産業振興の歴史・企業集積	○公共・民間を含めた施設の老朽化
情動的資源	外部からの評価	○世界的な環境面の高い評価 ○住みよさ ○都市ブランドイメージ ○食の魅力 ○観光満足度の高さ ○国からスタートアップエコシステム推進拠点都市に認定 ○2030年冬季オリパラ大会の国内候補地に内定	

■外部環境として、政治・法律、社会・経済、エコロジー、技術を定義

		札幌のまちの機会	札幌のまちの脅威
政治・法律	国の動向	○高齢者雇用安定法の制定 ○Society5.0の推進、デジタル庁設置の動き	
社会・経済	社会経済情勢	○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○人生100年時代の到来、ライフシフト ○北海道新幹線の札幌延伸 ○都市のリニューアル時期による投資意欲の高まり ○世界的なESG投資意欲の高まり ○日本一の食糧自給率（北海道）	○全国的な少子・高齢化の進行 ○子どもの貧困や虐待の増加・教育格差 ○感染症のパンデミック
エコロジー	環境行動	○気候変動等に伴う地球規模での環境保全の動き（脱炭素）	○頻発する自然災害
技術	技術革新	○デジタル技術の急速な進歩（AI、IoT等）	